

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所

2023 年度活動報告書

1 現代邦楽研究所の概要

■沿革

新しい邦楽専門の教育研究機関として1995年東京目白に開設し”現代邦楽研究所”第1期が始まる。三味線演奏家 西潟昭子を代表として運営を開始。演奏、創作、教育、研究、プロデュースなど様々な分野において日本の伝統音楽文化に貢献できる人材を育成輩出すべく様々な講座を設定し広く教育活動を行う。また、演奏会やワークショップ活動、コンクール事業、新作委嘱、CD や書籍出版など音楽文化への貢献活動も行う。2005年(第11期)4月より洗足学園音楽大学内に組織に移管し、大学附属研究所として”洗足学園音楽大学現代邦楽研究所”となる。2015年度より森重行敏が所長に就任。

2 研究体制

■2023年度 組織図

所長: 森重行敏(客員教授) 顧問: 松尾祐孝(教授) 主任: 大河内淳矢(尺八講師)

招聘員: マーティンリーガン(特別招聘研究員・講師 前期のみ)

クリストファーモリナ(特別招聘研究員・講師 後期のみ)

研究員: 石高万紀子(笛講師) 市川香里(箏講師) 川嶋信子(琵琶講師) 富田慎平(打楽器講師)

西川浩平(笛講師) 野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 山中信人(三味線講師)

吉原佐知子(箏講師)

研究助手: 産形典子(卒業生) 大友美由奈(修了生) 谷富愛美(修了生)

染谷美里(卒業生) 平原愛香(卒業生) 馮蕊(修了生)

■活動年表

1995年5月～2022年3月は現代邦楽研究所2022年度活動報告書にて報告

2023年

4月 現代邦楽研究所 第29期総合コース開講

5月 現代邦楽研究所 第29期ワンテーマ講座開講

6月 京橋エドグラン 和楽器展示会 演奏ステージ出演

7月 現代邦楽コース「和のいろは」制作協力(以下、演奏会詳細は後述)

8月 尺八の現在(いま)コンサート

11月 洗足学園音楽大学 邦楽ミュージカル 制作協力

12月 洗足学園音楽大学 邦楽冬の演奏会 制作協力

2024年

1月 現代邦楽研究所 第29期修了コンサート

3月 箏曲組歌演奏会(紀尾井小ホール)の後援

3月 洗足学園音楽大学 第14回邦楽定期演奏会 制作協力

■第 29 期 (2023 年度) 講師 ※【専門分野】五十音順

芦垣美穂【三味線組歌】

1980 年東京藝術大学音楽学部講師拝命。2015 年第 20 回芦垣美穂箏三絃リサイタル 2017 年開軒 50 周年記念一穂会地唄箏曲演奏会を国立劇場(小劇場)に於いて開催。現在京都にて中澤真佐師に師事、柳川流三絃を習得中。NHK 邦楽百番、邦楽のひとつとき等放送レコード録音多数。「古典教材ライブラリー」を人間国宝 山本邦山氏、吉崎克彦氏と共に収録発売中。ソロアルバム「今に生きる古典の世界」I-VIII 発売中。「芦垣美穂演奏集-宮城道雄を謳う-」全 6 集発売中(芸術祭参加作品)。宮城社大師範、森の会会員、日本三曲協会会員、生田流協会会員、初心の会同人、一穂会主宰、名古屋音楽大学客員教授。

石垣清美【箏】

5 歳より生田流箏曲を学び、後に沢井忠夫に師事。'77 年初代石垣征山と第 1 回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、国内外各地で回を重ねる。'85 年から熊谷守一美術館にて年 4 回 9 年間ジョイント・コンサートを開催。平成元年度「石垣清美 箏独奏会」の成果により、平成 3 年度「石垣征山・石垣清美 ジョイント・リサイタル vol.5」の成果により、文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアより CD「石垣清美 箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発売。国際交流基金の派遣などによりアメリカ、東南アジア、アルゼンチン、スペイン、中東、他を訪問。沢井箏曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK 邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。洗足学園音楽大学名誉教授。

石高万紀子【笛】

幼少より生田流箏曲を橋民子師に師事。1983 年より琴古流尺八を父の石高琴風より指導を受ける。同年 6 月よりフルートを日本フィルハーモニーの立川和男氏に師事。1991 年より琴風会の「手ほどき組」にて指導を開始、1993 年からは琴風の代範として指導を開始、地方支部の演奏会、講習会に参加。1994 年、NHK 邦楽技能者育成会 39 期修了。1995 年「石高万紀子リサイタル」を催す。サイパンでの戦没者慰霊祭はじめ、国際交流基金派遣事業としウクライナ・リトアニアでの公演やオリンピック文化事業でのギリシャ公演に参加。2010 年父、琴風より琴風会を受け継ぐ。

大河内淳矢【尺八】

桐朋学園芸術短期大学日本音楽専修尺八専攻卒業。NHK 邦楽技能者育成会卒業。自作曲を中心に演奏活動を行うほか、ジャンルを越えたアーティストとの共演も積極的に行う。国内のフェスティバルほか、海外公演にも多数出演し 2012 年に外務省在外公館長表彰を授与される。イベントや楽曲プロデュースも手がける。ドラマ、CM、舞台、映画、ゲーム音楽、アーティストのレコーディング等にも多数参加。学校公演なども積極的に行い、子どもたちに和楽器の音色を届けている。オリジナル CD を 3 枚リリース。2017 年より大倉文化財団と契約を結び、尺八とフルートを融合した楽器“オークラウロ”の奏者としても活動している。洗足学園音楽大学講師、現代邦楽研究所講師。

川嶋信子【琵琶】

桐朋学園大学短期大学部芸術学科(現・桐朋学園芸術短期大学)卒業。役者として数多くの舞台に出演しCMなどでも活躍。その後、日本の音に惹かれる自分に気づき琵琶と出会う。2000年より、薩摩琵琶を鶴田流・岩佐鶴文に師事。イベント出演や神社仏閣、美術館、クルーズ船などさまざまな場で琵琶の魅力を発信し、平家ゆかりの地でも毎年演奏を行う。他にも無声映画に楽師としての参加や、講談や舞踏など他ジャンルとの共演など、その活動は多岐に渡る。平家物語などの古典曲のみならず、積極的に創作活動を行い毎年新作を発表。特に“かたりもの”としての声には定評があり、力強い低音から透き通るような高音まで、奥行きのある響きと表現で物語を伝えている。2011年より1日体験教室“まなびわ”を毎月開講。築100年の蔵での琵琶体験は、その風情と共に琵琶を楽しく学べると好評を得ている。また琵琶ひとひら会を立ち上げ、琵琶を定期的に聴ける寄席のような場“びわづくし”を開催するなど、琵琶の普及活動にも尽力を注いでいる。第53回、第56回琵琶楽コンクール第二位入賞 NHK 邦楽オーディション合格。日本琵琶楽協会会員、鶴田流・鶴翔会会員、琵琶ひとひら会代表

砂崎知子【箏】

東京藝術大学邦楽科を卒業、同大学院修了。宮城喜代子、小橋幹子、上木康江の各氏に師事。これまでに東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任する。リサイタルは、1974年の第1回よりこれまでにのべ40回以上を開催し、1987年の第17回リサイタルに対し文化庁芸術祭優秀賞を受賞、1999年には大阪ドーンセンターで開催したリサイタルに対し大阪文化祭賞を受賞、2006年開軒40周年記念リサイタルを国立小劇場にて開催、2011年のリサイタル「協奏曲の夕べ」に対し芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。1978年発表の「琴ヴィヴァルディ四季」(東芝 EMI)を皮切りに、クラシックを箏で演奏した画期的なレコードは異例の40万枚を売り上げ、その後CD化に至る。1989年にソロアルバム「ベストテイク」(ビクター)を発売。2007年より宮城道雄作品集シリーズ「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」(日本コロムビア)を順次発売し、純邦楽CDランキングにて「春の海」は第1位、その他も上位を獲得した。2016年5月にはこれまでの自作の新録音となる「砂崎知子作品集 1-3」CDを発売した。2007年から2011年にかけて「砂崎知子箏コンサート全国ツアー」を企画し、この間に砂崎知子と琴ニューアンサンブルメンバーと共に国内の29カ所を巡り、各地で公演を開催した。これまでの様々な活動に対し、2016年には伝統文化ポौर賞優秀賞を受賞した。現在、全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM「邦楽百番」等に多数出演。東京・大阪・岡山に教室を持ち、多くの門人の為に日々指導にあたっている。

富田慎平【邦楽打楽器】

洗足学園音楽大学音楽学部音楽科打楽器コース卒業。在学中、洗足学園音楽大学主催第9回-11回「室内楽コンサート-オーディション合格者による-」披露演奏会成績優秀者による卒業演奏会、現代音楽協会主催「現代の音楽展」、ドイツ「オストフリーストランド音楽祭」サントリーホール主催「レインボー21 デビューコンサート」などに出演。NHK-FM「日本の民謡」「民謡を訪ねて」、NHK-E テレ「民謡魂」、NHK-world「Blends」、テレビ東京「年忘れにっぽんの歌」「おはスタ645」、フジテレビ「武器はテレビ SMAP×FNS27 時間テレビ」、読売テレビドラマ「猿ロック」、日本テレビ放送「Dr.倫太郎」、日本フィルハーモニー交響楽団第642回定期演奏会など出演。洗足学園音楽大学講師。

鳥居名美野【箏曲組歌】

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了、芸術修士号取得。市村綾能(実母)、五代・鳥居登名美(養母)、中能島欣一、初代・越野栄松、二代・高橋栄清に師事。昭和30年五代・名美野を襲名。昭和57年家元継承。昭和29年安宅賞。昭和55年・57年文化庁芸術祭優秀賞。平成14年文化庁長官賞。平成17年松尾芸能賞。米国ワシントン大学にて講師として1年、ウェスリアン大学にて客員芸術家として10年山田流箏曲を教授。アメリカ各地、多数の大学、カナダ、イギリス、中国にて演奏。現在、山田流古典曲保持者として箏曲組歌の研究、古典曲の研鑽と伝承に努めるとともに、演奏で活躍。山田流に伝わる組歌 全30曲の楽譜を出版。CD 鳥居名美野箏曲組歌第1集-第4集(日本伝統文化振興財団)。河東節・山彦登和子、一中節・宇治紫蝶の芸名を持つ。箏曲組歌会代表、山田流箏曲協会副会長、(社)日本三曲協会監事、「燿名会」主宰。

西川啓光【邦楽打楽器】

所属団体「オーケストラアジア」、日本音楽著作権協会。西川啓光和太鼓フループ「鼓友会」主宰。パール楽器製造株式会社「パール和太鼓」アドバイザー。著作「和太鼓をはじめよう!」(汐文社)。日本音楽集団の一員として「音楽之友社賞」「レミーマタン音楽賞」受賞。市川猿之助演出主演スーパー歌舞伎、シドニー市と東京都姉妹都市提携の友好使節団、大相撲アメリカ公演及びパリ公演等の音楽監督やプロデュースを行う。各地方の太鼓グループ等の演奏指導も行う。

野澤佐保子【箏】

幼少より母に生田流箏曲の手ほどきを受ける。現代奏法を福永千恵子師に、古典地歌箏曲を芦垣美穂師に師事。NHK邦楽技能者育成会第41期卒業。現代邦楽研究所第4期修了。一般社団法人京都當道会師匠資格取得。名古屋大学文学部卒業。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞。東京邦楽コンクール奨励賞受賞。ビクター邦楽技能者育英賞受賞。蒲郡市文化協会奨励賞受賞。NHK邦楽オーディション合格(箏、十七絃箏)。2000年、2006年、2014年にリサイタルを行うほか、各種演奏会、演奏会企画公演など各地で行う。学校へのアウトリーチも積極的に取り組んでいる。CD録音参加、NHKFMラジオ出演多数。「やさしい箏入門」(ドレミ楽譜出版社刊)執筆。洗足学園音楽大学講師、桐生大学附属中学校講師、NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽“考”団員、東久留米市邦楽連盟、蒲郡市文化協会所属。

野澤徹也【三味線】

受賞歴は東京邦楽コンクール第1位、全国邦楽コンクール優秀賞他多数。CDは『三味線独奏曲集』(TYサポート受賞作品)の他、計18枚リリース。2019年『杵屋正邦作品集』を(公財)日本伝統文化振興財団よりリリースし、令和元年度(第74回)文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2013年より放送の『にっぽんの芸能』テーマ曲・挿入曲の演奏を担当。2020年6月には演歌歌手・五木ひろしコンサート「和楽器と奏でる日本のこころ」に出演。8月にはNHK第一ラジオドラマ「料理人季蔵捕物控(西田敏行、竹下景子主演)」シリーズの三味線演奏を担当。洗足学園音楽大学講師。

松尾祐孝【作曲】

1959年東京生まれ。1984年東京芸術大学大学院修士課程修了。85年日仏現代音楽作曲コンクール特別賞、88年ACL青年作曲賞第1位、92年ISCM世界音楽の日々ワルシャワ大会入選、その他、村松賞、別宮賞

等、受賞多数。94年には、代表作〈PHONOAPHEREI-尺八と管弦楽の為に〉が東京フィル欧州楽旅で絶賛を博す。以後、邦楽器の分野にも積極的に関わっており、2014年に開催した《松尾祐孝邦楽器作品個展》は大きな反響を巻き起こした。国際交流活動にも積極的で、98年ブザンソン国際作曲コンクール審査員、《ISCM世界音楽の日々2001横浜大会》等の実行委員長、メキシコ《セルバンティノ芸術祭2005》招待作曲家、エクアドル《日本=エクアドル交流演奏会2006》招待指揮者、NY《Music From Japan 2007》委嘱作曲家、ポルトガル《Musica Viva 2010》委嘱作曲家、ウクライナ《Donbas Modern Music Art 2013》招聘指揮者、等を歴任している。現在、(N法)日本現代音楽協会理事、(公財)日本音楽教育文化振興会理事、(一社)日本木文化学会代表理事。

森重行敏【音楽学】

1979年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。大学在学中、故小泉文夫教授の薫陶により日本とアジアの音楽に関心を持ち、ガムラン音楽グループの創設に加わる。1979年武蔵野音楽学院(調布市、廃校)にて楽典授業、学務副主任。1984年(財)日本児童手当協会音楽事業部コーディネータとして青山・こどもの城(国立総合児童センター)における邦楽、ガムラン、合唱などの音楽講座の企画、運営にあたる。1990年PAN School of Music(渋谷区、廃校)にてイヤートレーニング担当、テキスト作成に携わる。1995年現代邦楽研究所(目白)の開校時より、授業系主任としてカリキュラム作成、授業実施に携わる。2002年桐朋学園大学短期大学部(現、桐朋学園芸術短大)にて日本音楽理論講義。2003年東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科にて日本音楽概論講義。2005年洗足学園音楽大学現代邦楽研究所および現代邦楽コースにて各種授業。2013年尚美学園大学にて『諸民族の音楽』授業。洋楽、邦楽、ガムラン音楽分野の編曲作品、解説、著述多数。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、東京芸術大学、尚美学園大学にて授業担当。他にNPO法人日本ガムラン音楽振興会理事。一般財団法人杉並児童合唱団代表理事。近年のおもな業績 2012年「ビジュアル版・和楽器事典」(単著) 汐文社刊。2013-2015 国立劇場邦楽公演専門委員。2015年度より洗足学園音楽大学客員教授および現代邦楽研究所所長。

山下名緒野【箏曲組歌】

幼少より母に手ほどきを受ける。昭和47年鳥居名美野師に師事。現在に至る。昭和47-53年市村綾能師に師事。昭和53年東京藝術大学卒業。昭和55年NHK邦楽技能者育成会修了。昭和60年文化庁国内研修員に任命される。平成19年-21年東京芸術大学非常勤講師。平成22年より洗足学園音楽大学現代邦楽研究所箏曲組歌講師。河東節を山彦さわ子師に師事し山彦みや子に、荻江節を荻江さわ師に師事し荻江りおを、一中節を十二世 都一中師に師事し都一恵の名前を許される。「邦楽百番」「芸能花舞台」等出演。日本三曲協会、山田流箏曲協会。

山中信人【津軽三味線】

中学校卒業後15歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者山田千里(やまだちさと)の内弟子として4年間修業。津軽三味線山田千里流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線世界大会では最上級A級3連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3回の優勝を獲得。海外計38の国と地域で演奏。約16年にわたり「南中ソーラン」など現代風にアレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。世界を意識した活動を行う埼玉県にゆかりのある個人や団体に贈られる「平成29年度埼玉グローバル賞」を受賞。「平成30年度北本市文化奨励賞」を受賞。

現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学講師。加須市観光大使。北本市観光大使。埼玉親善大使。

吉原佐知子【箏】

東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK 邦楽技能者育成会卒業。現代邦楽研究所第 1 期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHK オーディション合格。「和楽器にチャレンジ箏」(汐文社)執筆担当。日本三曲協会、生田流協会、森の会、あいおいの会会員。洗足学園音楽大学、熊本大学、東京都市大学等々力中高箏曲部講師。

特別招聘研究員・講師

Dr.Marty Regan (マーティン リーガン)【作曲】

日米教育委員会フルブライト講師研究員として 2022 年夏より 1 年間来日。「西洋音楽」はもとより、今までに、70 曲を超える邦楽作品を作曲。2002 年以降、現代邦楽演奏の主要グループの一つであるオーラJに所属。95 年オハイオ州オバーリン大学作曲科及び東アジア研究科卒。国費研究留学生として、東京音楽大学院作曲専攻に在籍していた。02 年文化庁舞台芸術創作奨励国立劇場作曲コンクールに尺八と二十絃箏のための「東雲の詩」(2001)で入賞。邦楽器のための作曲法について書かれた唯一の研究書である、三木稔著「日本楽器法」(音楽之友社)の英語版翻訳を 2008 年に出版。2006 年ハワイ大学作曲科博士課程修了。ヒューストン・グランドオペラによる委嘱作品、室内オペラ「メモリー・ストーン」が、テキサスセンター・アジアソサエティにて、2013 年初演。10 年ナポナーレコードによって、自作品 CD「マーティン・リーガンの和楽器による作品集第一番：森が囁いて...」がリリースされた。邦楽器の為の第二作品集「魔鏡」(2012)及び第三作品集「光を花と散らす」(2014)は同レーベルよりリリースされた。11 年研究員として上海音楽院作曲専攻に在籍し、中国伝統的楽器の個人レッスンを受けた。2015 年ヘレン・ウーリッツァー財団アーティスト・レジデンス助成を得る。イギリス・ケンブリッジ大学のクレア・ホール客員研究員の奨学金を得る。現在、アメリカ・テキサス A&M 大学の教授として後進の指導にあたる。

Christopher Molina (クリストファー モリナ)【作曲】

ボストン出身。ミドルベリー大学文学士、ミシガン大学作曲修士、ハワイ大学作曲博士。博士論文「Beyond November Steps: Takemitsu's Other Double Concertos」で取得。作曲家 Donald Womack, Betsy Jolas, William Bolcom, 盛宗亮, Su Lian Tan に師事。皇太子明仁親王財団、国際交流基金、ハワイ大学日本研究所などから助成金を得る。タカーチ弦楽四重奏団、サンクトペテルブルク弦楽四重奏団、上海フィルハーモニー、ミシガン大学交響楽団、セージ・シティ交響楽団によって初演される。東アジアの伝統楽器とクラシック音楽を融合させ、ジャズやフォークの影響を讃え、自然界に関連する美学を追求している。ドイツでピアノ、フランスで合唱音楽、日本で三曲を学んだ後、2015 年から尺八を主要な創作の源泉として作曲活動を行う。眞玉和司のもとで尺八を学ぶ。

3 研究活動

■研究の概要

現代邦楽研究所における研究活動の大きな柱は、演奏活動と教育活動の2本柱にある。演奏会活動については、作曲家への邦楽器による新たな作品の委嘱や初演を手がけ、優れた現代邦楽作品の演奏紹介を行う他、古典についても現代に生きる音楽としての視点から演奏や研究活動を行っている。教育活動については専門性を高める教育と同時に、幅広く日本の伝統音楽を体験してもらう方法論として、音楽づくりの手法を取り入れた教育法の研究と実践を進めている。

4 現代邦楽研究所協力

■演奏会

現代邦楽研究所の講座研究生による成果発表の場となる修了コンサートが開かれた。また、開催に協力した演奏会の概要を下記に示す。

◎2023年度 修了コンサート

日時:2024年1月20日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

会場:洗足学園音楽大学 アンサンブルシティ C604

主催:現代邦楽研究所 入場:無料

曲目

- 「明石」 箏組歌
- 「双輪」 杵屋正邦作曲 / 「寿 鼓賑和日」 西川啓光作曲
- 「心尽くし」 箏組歌
- 「十七絃二面の為の一章」 栗林秀明作曲
- 「彗星」 吉崎克彦作曲
- 「琉球民謡による組曲」 牧野由多可作曲

出演

現代邦楽研究所研究生 洗足学園音楽大学学生、卒業生

助演・講師

芦垣美穂(組歌講師) 石垣清美(十七絃講師) 杵家七三(三味線助演) 西川啓光(鼓講師)
大河内淳矢(尺八講師) 野澤徹也(三味線講師) 吉原佐知子(箏講師)

司会

森重行敏(現代邦楽研究所 所長)



◎洗足学園音楽大学「和のいろは」

日時:2023年7月22日(土) 15:00開演 (14:30開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

「千鳥幻想」 沢井忠夫作曲

「潮流」 鈴木清寿作曲

「夏の舞」 Marty Reagan作曲

「津軽じょんから節」 青森県民謡

「望の曲」 藤井凡大作曲

出演

大学院生: 郝翼田(院2・三味線) 張梓豪(院1・琵琶)

学部生: 川田健太(学4・箏) 鄭啓源(学1・笛) 林彩葉(学1・箏)

現代邦楽研究所研究生

磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

助演・講師

大河内淳矢(尺八講師) 柿崎竹美(唄講師) 川嶋信子(琵琶講師)

野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 吉原佐知子(箏講師)

Marty Regan(尺八・特別客演) 馮蕊(笛・修了生)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

洗足学園音楽大学 現代邦楽コース 和楽器コンサート

和のいろは

曲目 千鳥幻想 沢井忠夫 作曲
潮流 鈴木清寿 作曲
夏の舞 Marty Reagan 作曲
津軽じょんから節 青森県民謡
望の曲 藤井凡大 作曲

出演 大学院生 郝翼田(院2・三味線) 張梓豪(院1・琵琶)
学部生 川田健太(学4・箏) 鄭啓源(学1・笛) 林彩葉(学1・箏)
現代邦楽研究所研究生 磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

助演・講師 大河内淳矢(尺八・講師) 柿崎竹美(唄・講師) 川嶋信子(琵琶・講師)
野澤佐保子(箏・講師) 野澤徹也(三味線・講師) 吉原佐知子(箏・講師)
Marty Regan(尺八・特別客演) 馮蕊(笛・修了生)

司会 松尾祐孝

日時 **2023年7月22日(土)**
14時30分開場 15時開演

会場 洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

入場無料 全席自由・要予約 小学生以上入場可
QRコードより予約サイトへお進み下さい

お問い合わせ
genhouken01@senzoku.ac.jp

洗足学園は2024年に100周年を迎えます。

◎洗足学園音楽大学「邦楽ミュージカル公演」

日時:2023年11月25日(土) 18:00開演 (17:30開場)

11月26日(日) 14:00開演 (13:30開場)

会場:洗足学園音楽大学キッズスクエア1階 MUSIC POOL CINO

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

洗足学園音楽大学

邦楽ミュージカル 2023

夏花火♥恋名残

日時
2023年11月25日(土)
18:00開演 (17:30開場)

2023年11月26日(日)
14:00開演 (13:30開場)

会場
洗足学園音楽大学 キッズスクエア1F
MUSIC POOL CINO

入場料
無料(全席指定・要予約) 小学生以上可

洗足学園は2024年に100周年を迎えます。

曲目

「夏花火♡恋名残」 篠原誠作曲

脚本:中屋敷法仁 演出・潤色:倉迫康史 作曲・音楽監督:篠原真

出演

吉原佐知子(箏講師) 川田健太(学4・箏) 産形典子(卒業生・箏)
野澤徹也(三味線講師) 阿部大輔(尺八助演) 富田慎平(打楽器講師)
ミュージカルアンサンブル ミュージカルコース選抜

◎洗足学園音楽大学「冬の邦楽演奏会」

日時:2023年12月9日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

「春の海」 宮城道雄作曲

「琵琶二重奏曲」

「那須野」 山田検校作曲

「津軽じょんから節」 青森県民謡

「悠奏」 石垣征山作曲

出演

大学院生: 郝翼田(院2・三味線) 張梓豪(院1・琵琶)
学部生: 川田健太(学4・箏) 鄭啓源(学1・笛) 林彩葉(学1・箏)
現代邦楽研究所研究生
磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

助演・講師

市川香里(箏講師) 大河内淳矢(尺八講師) 川嶋信子(琵琶講師) 野澤佐保子(箏講師)
吉原佐知子(箏講師) クリストファーモリナ(尺八・国際交流助演) 馮蕊(笛・修了生)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

洗足学園音楽大学 現代邦楽コース 和楽器コンサート

冬の邦楽演奏会

曲目 春の海 宮城道雄 作曲
琵琶コーナー ~曲目は当日のお楽しみ~
那須野 山田検校 作曲
津軽三味線演奏 津軽じょんから節
悠奏 石垣征山 作曲

出演 大学院生 郝翼田(院2・三味線) 張梓豪(院1・琵琶)
学部生 川田健太(学4・箏) 鄭啓源(学1・笛) 林彩葉(学1・箏)
現代邦楽研究所研究生 磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

助演・講師 市川香里(箏・講師) 大河内淳矢(尺八・講師) 川嶋信子(琵琶・講師)
野澤佐保子(箏・講師) 吉原佐知子(箏・講師)
クリス・モリナ(尺八・国際交流助演) 馮蕊(笛・修了生)

司会 松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

日時 **2023年12月9日(土)**
14時30分開場 15時開演

会場 洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

QRコード 入場無料 全席自由・要予約 小学生以上入場可
QRコードより予約サイトへお進み下さい

お問い合わせ
genhouken01@senzoku.ac.jp

100th SENZOKU 洗足学園は2024年に100周年を迎えます。

洗足学園音楽大学 お問い合わせ... senzoku@senzoku.ac.jp
洗足学園音楽大学 洗足学園音楽大学 洗足学園音楽大学
洗足学園音楽大学 洗足学園音楽大学 洗足学園音楽大学

◎洗足学園音楽大学「第14回邦楽定期演奏会」

日時:2024年3月20日(水・祝) 15:00開演 (14:30開場)

会場:洗足学園音楽大学 前田ホール

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

- 「津軽じょんから節」 青森県民謡
- 「二つの個性」 藤井凡大作曲
- 「三味線中国琵琶二重奏」 松尾祐孝作曲
- 「寿」 杵屋正邦作曲
- 「虚空」 尺八古典本曲
- 「熊野古道」 林哲司作曲

出演

大学院生: 郝翼田(院2・三味線) 張梓豪(院1・琵琶)

学部生: 川田健太(学4・箏) 鄭啓源(学1・笛) 林彩葉(学1・箏)

現代邦楽研究所研究生

磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

現代邦楽研究所卒業生・関係者

遠藤鈴匠 大坂智子 大原修子 奥田恵美子 菊池由里子 君澤朱野 酒井高子 坂本知亜子

桜井由美 倭文美智子 鈴木裕子 新保真佐江 堀保之 間村さつき 森博明(佳久山) 渡辺澄子

助演

石高万紀子(笛講師) 大河内淳矢(尺八講師) 川嶋信子(琵琶講師) 西川啓光(打楽器講師)

野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 吉原佐知子(箏講師) 佐藤秀嗣(打楽器助演)

稲沢茉莉(卒業生・三味線) 産形典子(卒業生・箏) 大友美友奈(卒業生・三味線)

染谷美里(卒業生・三味線) 谷富愛美(卒業生・箏) 平原愛香(卒業生・箏) 馮蕊(修了生・笛)

クリストファーモリナ(尺八・国際交流助演)

特別出演

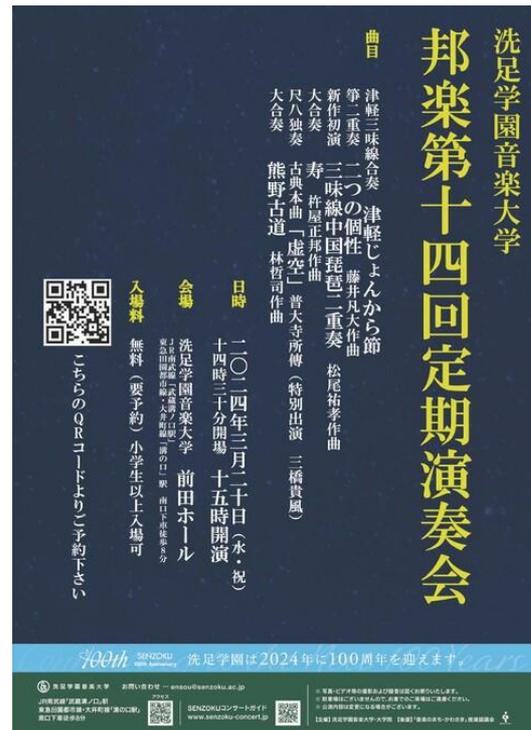
三橋貴風(尺八)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

国際連携: IWCS 国際木文化学会 / (一社)日本木文化学会

《World Wood Day 2024 Special Concert》としてインターネット配信を実施



■作品初演

2024年3月20日(水・祝)「第14回邦楽定期演奏会」

松尾祐孝 《コントラストリングス第4番》～中国琵琶と三味線の為に(2024/初演)

Masataka MATSUO 《CONTRASTINGS no.4》 for Chinese pipa and Shamisen

中国琵琶:馬新凱(院1)

三味線:郝翼田(院2)



大学院和楽器専攻では、近年の大学院スペシャルコンサートと邦楽定期演奏会において、作曲家書き下ろし作品の新作初演を特別なプロジェクトとして展開している。今年度は、津軽三味線を専攻する2年生と、母国で中国琵琶(ピパ)を専攻した後に本学で日本の琵琶を専攻している1年生の、中国からの留学生2名が在籍している。そこで、単なる邦楽や邦楽器の学びの場としてのみならず、東アジアの同属楽器比較研究や国際交流のハブとして発展しつつある、近年の本学和楽器部門の様相の一端を紹介すべく、中国琵琶と三味線のための二重奏曲を大学院生新作初演プロジェクトの題材とすることにした。曲は、同じ抱絃楽器ながら、半音毎のフレットを持つ機能的な楽器に発展した中国琵琶と、フレット(柱)無しのまま日本独自の発展を遂げた三味線の、近似生や対照性を垣間見せながら進行して、やがてどこか懐かしい民謡風の旋律に辿り着いて柔らかに歌い上げます。留学生二人の新鮮な演奏をお楽しみください。

追記)このタイトル Contrastings は、contrast(対照性)と strings(絃/弦楽器)の二語を組み合わせた作曲者による造語です。第一弾は三味線とコントラバス、第二弾はヴァイオリンと琵琶、第三弾は二胡と二十絃箏、という組み合わせで書いてきたシリーズです。

(記:松尾祐孝 / 作曲者)

■講座

現代邦楽研究所提携・かわさき市民アカデミー「日本の伝統芸能講座」

講座 6	伝統芸能を改めて知る～名曲探訪シリーズ			
	【定員】100名			
	『音楽・芸能』 日本の伝統芸能 【時間】 毎回 13時30分～15時00分（計12回）			
概要	今期は伝統芸能の名曲の数々の中から、季節や土地にちなんだ作品を巡る旅を企画しました。 能、歌舞伎、箏曲など、毎回のテーマに焦点を当てて名曲を比較します。			
回	日程	会場	学習内容	講師名
1	4/10(月)	高津市民館 大会議室	はじめに 伝統芸能の名曲をめぐる基礎知識	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/24(月)		名曲探訪 1 桜を描く名曲の数々	
3	5/8(月)		名曲探訪 2 道成寺 能、歌舞伎舞踊の道成寺もの	
4	5/29(月)		名曲探訪 3 商都ナニワ、上方芸能の世界	
5	6/12(月)		名曲探訪 4 都の風情 京都に関わる名曲	
6	6/26(月)		箏曲の新しい展開・二十五絃 ゲスト演奏 金子展寛、金子昇馬(箏)	
7	7/10(月)		名曲探訪 5 夏にちなむ名曲を鑑賞	
8	7/31(月)		名曲探訪 6 悲劇のヒーロー、義経	
9	8/14(月)		楽器シリーズ・三味線の製作 (ゲスト 谷川和弘 ほか)	
10	8/28(月)		箏曲の古典と可能性を探る ゲスト演奏 細川喬弘、清原晏(箏)	
11	9/4(月)		名曲探訪 7 秋の名曲の数々	
12	9/11(月)		おわりに	

講座 6	伝統芸能を改めて知る～続・名曲探訪シリーズ			
	【定員】100名			
	日本の伝統芸能 【時間】 毎回 13時30分～15時00分（計12回）			
概要	前期に引き続き、伝統芸能の名曲にスポットを当てます。前半は箏曲の歴史を紐解きながらの名曲分析、後半では名曲のふるさとを巡ります。 ゲスト演奏も2回予定しております。前期を受講されていない方も楽しめる講義です。			
回	日程	会場	学習内容	講師名
1	10/2(月)	高津市民館 大会議室	はじめに 箏曲の歴史	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/23(月)		箏曲の流れ(1)段物…六段やみだれなど器楽曲の始まりを探る	
3	11/13(月)		箏曲の流れ(2)組歌…弾き歌いによる箏曲のはじまり	
4	11/27(月)		箏曲の流れ(3)手事物…間奏部分が聞かせどころ。合奏の妙趣。	
5	12/4(月)		冬の名曲…冬、雪などにちなむ名曲の数々	
6	12/11(月)		楽器制作 尺八製管の専門家をお招きします。(ゲスト 遠藤鈴匠)	
7	1/22(月)		ゲスト演奏 新春のしらべ 新春ならではのご祝儀曲。(ゲスト 吉原佐知子、神令)	
8	1/29(月)		名所巡り(1)琵琶湖…近江、竹生島などにちなむ名曲を訪ねます	
9	2/5(月)		名所巡り(2)伊勢…伊勢音頭や御山獅子など神宮にちなむ名曲。	
10	2/26(月)		名所巡り(3)多摩川、玉川…多摩川を歌う長唄や、全国の玉川にちなむ曲も	
11	3/4(月)		ゲスト演奏 (ゲスト 大河内淳矢、金森大)	
12	3/11(月)		おわりに	

■第 29 期 現代邦楽研究所 総合コース実施概要

日程	講義 13:00~14:30 C301		アンサンブル実習 15:00~17:00 C501	
4月15日	概説1 序論	森重行敏	基礎理論	森重行敏
4月22日	概説2 古代	森重行敏	基礎理論	森重行敏
5月6日	声明	澤田篤子	基礎実技	野澤佐保子/松尾祐孝
5月13日	外から見た邦楽	マーティンリーガン	合奏曲 A	吉原佐知子/松尾祐孝
5月20日	雅楽	山本華子	合奏曲 A	吉原佐知子/松尾祐孝
5月27日	古代古謡	石川高	合奏曲 B	松尾祐孝
6月3日	概説3 中世	森重行敏	合奏曲 B	野澤佐保子/松尾祐孝
6月10日	能楽(謡曲)	鶴沢光	合奏曲 B	野澤佐保子/松尾祐孝
6月17日	平家物語	薦田治子・田中奈央一	合奏曲 C	吉原佐知子/松尾祐孝
6月24日	地歌	長谷川慎	合奏曲 C	吉原佐知子/松尾祐孝
7月1日	概説4 近世	森重行敏	合奏曲 C	野澤佐保子/松尾祐孝
7月8日	長唄	杵家七三	合奏曲 C	野澤徹也/松尾祐孝
7月15日	義太夫節	鶴澤三寿々	合奏曲	野澤佐保子/松尾祐孝
7月22日	演奏会「和のいろは」	-	「和のいろは」演奏会	-
7月29日	常磐津節	常磐津紫緒	ガムラン	森重行敏
9月9日	生田流箏曲	芦垣美穂	邦楽ソルフェージュ	森重行敏
9月16日	清元節	清元栄吉	邦楽ソルフェージュ	森重行敏
9月23日	尺八	大河内淳矢	合奏曲 D	大河内淳矢/松尾祐孝
9月30日	端唄・小唄	山本ゆきの	合奏曲 D	川嶋信子/松尾祐孝
10月7日	民謡	上原潤之助	合奏曲 D	野澤佐保子/松尾祐孝
10月14日	津軽三味線	山中信人	合奏曲 D	野澤徹也/松尾祐孝
10月21日	近代の琵琶	川嶋信子	合奏曲 E	川嶋信子/松尾祐孝
10月28日	笛の音楽	石高万紀子	合奏曲 E	石高万紀子/松尾祐孝
11月4日	鑑賞授業	吉原佐知子	合奏曲 E	大河内淳矢/松尾祐孝
11月18日	合奏のみ臨時	-	合奏曲 E	大河内淳矢/松尾祐孝
11月25日	和太鼓	山部泰嗣	合奏曲 E	吉原佐知子/松尾祐孝
12月2日	邦楽打ち物	富田慎平	合奏曲 E	野澤佐保子/松尾祐孝
12月9日	「冬の邦楽演奏会」	-	「冬の邦楽演奏会」	-
12月16日	山田流箏曲	市川香里	合奏曲 F	吉原佐知子/松尾祐孝
1月6日	理論授業なし	-	合奏曲 F	吉原佐知子/松尾祐孝
1月13日	前期後期まとめ	森重行敏	-	-
1月20日	琉球箏曲(1/6分補講)	名嘉ヨシ子	-	-
	修了演奏会 C604	-	-	-
1月21日	鑑賞授業	野澤佐保子	-	-
2月4日	鑑賞授業	森重行敏	-	-
3月20日	第14回邦楽定期演奏会	-	-	-

■第 29 期 現代邦楽研究所 ワンテーマ講座実施日

	10:00～	12:30～	15:00～	12:30～	12:30～	15:00～
日程	十七絃奏法研究講座 (石垣清美)	箏曲組歌研究講座 (鳥居名美野)	三絃・箏組歌講座 (芦垣美穂)	箏合奏研究講座	楽しい箏合奏講座 (吉原佐知子)	楽しい鼓講座 (西川啓光)
4月15日						
4月22日						
5月6日			①		①	
5月13日		①				
5月20日						
5月27日	①					①
6月3日						
6月10日			②			
6月17日	②	②				
6月24日						②
7月1日			③		②	
7月8日				マーティンリーガン		③
7月15日	③					
7月22日		③		マーティンリーガン	③	
7月29日			④			
9月9日		④	⑤		④	
9月16日				砂崎知子		④
9月23日	④					
9月30日		⑤	⑥			
10月7日	⑤					⑤
10月14日			⑦		⑤	
10月21日						
10月28日		⑥	⑧	砂崎知子		
11月4日						
11月18日						
11月25日	⑥			川崎絵都夫	⑥	
12月2日				川崎絵都夫		⑥
12月9日		⑦				⑦
12月16日	⑦		⑨			
1月6日						
1月13日	⑧	⑧	⑩		⑦	⑧
1月20日						
1月21日						
2月4日						

5 所蔵物

楽器

大学授業および現代邦楽研究所講習などで活用するための楽器として箏(十三絃/十七絃)、三味線、尺八、笛、邦楽打楽器などを備品として保管管理。

楽譜

主に現代邦楽作品の五線譜楽譜を中心に約 300 曲を保有。

CD・DVD

研究用に購入もしくは寄贈された CD、DVD など約 200 点を保有。
その他、過去の演奏会や講習の記録ビデオや録音音源を保有。

6 現代邦楽研究所事務局

〒213-8580

神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1

洗足学園音楽大学内アンサンブルシティ 5 階 C503

電話 & FAX: 044-856-2932

メール: genhouken01@senzoku.ac.jp

HP: <https://www.senzoku.ac.jp/music/laboratory/traditional>

